

河川許可申請書

河川許可申請書

〔 一級河川〇〇川
20条 〕

平成〇年〇月

〇

〇

局

一級河川〇〇川
24・26条

添付書類目次

1. 事業計画概要説明書	P 2
2. 構造計算書	P 3
3. 施設の位置を称する資料	P68
4. 占用面積計算書及び丈量図	P71
5. 工事工程表	P74
6. 概算工事費	P75
7. 現況写真	P76
8. 打合事	P80
9. 添付図面	P87
位置図	1 葉
平面計画図	1 葉
縦断計画図	1 葉
横断計画図	1 葉
構造図	1 葉
仮設図	1 葉
公図	1 葉

1. 事業計画概要説明書

本工事は〇〇部〇室（〇県〇町〇番地の1）の敷地内に隣接する一級河川〇〇川に横架している橋梁の架け替え工事を行うものである。

本橋は昭和24年に架橋後、59年がたちクラックや老朽化が著しく、危険な状態となっているため、耐久性、経済性、安全性及び美観等の諸要素を十分考慮し、種々の構造検討を行った結果、〇〇橋（〇〇製品）を施工するものです。

尚、本橋梁型式は洪水に対して適正な余裕高をもち、進入路の問題や工事期間中の騒音及び施工期間（非かんがい期）も配慮して決定されている。

2. 構造計算書

3. 施設の位置を証する資料

4. 占用面積計算書及び丈量図

6. 概算工事費

費目	工種	単位	数量	金額	摘要
直接工事費					
	土工	式	1		
	〇〇工	式	1		
	構造物撤去工	式	1		
	仮設工	式	1		
諸経費					〇〇%
工事価格					
消費税相当額					
合計					

7. 現況写真

8. 打合事

9. 添付図面

位置図 (1/25000)	1 葉
平面計画図	1 葉
縦断計画図	1 葉
横断計画図	1 葉
構造図	1 葉
仮設図	1 葉
公図	1 葉

許 可 申 請 書

〇〇 第 号
平成〇年 月 日

河川管理者
〇〇知事 〇〇 殿

申請者 住 所 〇丁目〇番〇号
〇〇法人 〇〇局
ふりがな
氏 名 〇 〇〇 印

別紙のとおり河川法第 24 条 ・ 26条 の許可を申請します。

(工作物の新築、改築、除却)

1 河川の名称

一級河川〇〇水系〇〇川

2 目的

〇〇の〇内に隣接する一級河川〇〇川に横架している橋梁の架け替えを行う。

3 場所

左岸 〇〇県〇〇町〇番の2 (申請書添付図面のとおり)

右岸 〇〇県〇〇町〇番の1 (申請書添付図面のとおり)

4 工作物の名称又は種類

〇〇内 橋梁及び取合道路

5 工作物の構造又は能力

既設 (撤去) 上部工 単純R C床版橋 (T9)
全幅5.53m×桁高0.45m×橋長6.475m (支間5.955m)
下部工 重力式橋台 H2.99m×B1.50m×L5.53m (推定)

今回 上部工 〇〇工 (T25)
全幅6.00m×桁高0.82m~2.650m×橋長7.84m (支間7.52m)
下部工 重力式受台 H0.74m×B1.50m×L6.35m

6 工事の実施方法

請負施工 (内容については工事計画のとおり)

7 工期

自 平成 〇年 12月 1日

至 平成 〇年 3月 31日

8 占有面積

既設	43.3m ² (橋梁)	今回	43.3m ² (橋梁)
	— m ² (取合道路)		— m ² (取合道路)
合計	43.3m ²	合計	43.3m ²

9 占有の期間

自 平成 〇年 12月 1日

至 平成 〇年 3月 31日

6. 水理計算書

6-1. 計画高水流量の算定

(1) 計画規模（本設）

河川砂防技術基準同解説「計画編」P30 及び〇県河川課 確率年の一般的基準より砂防指定河川の場合は超過確率 1/100 年である。

(2) 計画規模（仮設）

橋梁カルバート工事は非かんがい期（10月～3月）に行う。
 国交省土木工事設計要領より、以下を採用する。
 仮締切工法は水深 1.5m 以下のため、土堤方式（大型土のう）を採用する。

(3) 計画高水流量の計算

洪水到達時間 (T) = 河道流入時間 (T₁) + 流下時間 (T₂)

Box. NO. 1	
H ₁ (m) : 河道最遠点標高	168.3
H ₂ (m) : Box 位置河床高	107.91
H=H ₁ -H ₂ (m) : 標高差	60.39
L(m) : 河道延長	1050
I=H/L : 平均河床勾配	1/17.39
W(m/sec) (Kraven 式)	3.5
T ₁ : 河道流入時間 (min)	30.0
T ₂ =L/W×1/60 (min) : 流下時間	1050/3.5×1/60=5.0min
T=T ₁ +T ₂ (min) : 洪水到達時間	30.0+5.0=35.0min

(4) 洪水到達時間内の平均雨量

一級河川〇〇川について、「〇県の河川と海岸 (H〇年 3月)」〇県〇部河川課資料「〇〇」の確率年を準用する。

$$I_{100} = \frac{2271.8}{t^{2/3} + 11.669} \quad (\text{mm/hr})$$

(通年・クリーブランド式) 橋梁カルバート設計 (土木)

区分	Box. NO. 1
洪水量諸元	
t (min) 洪水到達時間	35.0
I ₁₀₀ (mm/hr) 100 年確率 降雨強度 (通年)	$\frac{2271.8}{35^{2/3} + 11.669} = 101.6$

橋梁カルバート設置位置の流域面積表 (=A)

区分	流出係数	Box. NO. 1
密集市街地	0.9	—
一般市街地	0.8	—
畑・原野	0.6	—
水田	0.7	9.85
山地	0.7	164.88
ため池	1.0	0.23
計 (=A)	—	174.96 ha

(5) 計画高水流量の決定

$$Q = \text{計画高水流量 (m}^3/\text{sec)} = 1/3.6 \cdot f \cdot r \cdot A$$

f = 流出係数

A = 流域面積 (km²)

r = 洪水到達時間内の平均降雨量 (mm/hr)

	Box. NO. 1 (計画高水流量)	Box. NO. 1 (非かんがい期)
f	$\frac{0.7 \times 9.85 + 0.7 \times 164.88 + 1.0 \times 0.23}{174.96}$ = 0.700	$\frac{0.7 \times 9.85 + 0.7 \times 164.88 + 1.0 \times 0.23}{174.96}$ = 0.700
R ₁₀₀ (=I ₁₀₀ mm/hr) 通年 1/100	101.6	—
r ₃ ' (=I ₃ ' mm/hr) 非かんがい期	—	33.0
A (km ²)	1.7496	1.7496
Q ₁₀₀ (m ³ /s)	$1/3.6 \times 0.70 \times 101.6 \times 1.7496$ = 34.56	—
Q ₃ ' (m ³ /s)	—	$1/3.6 \times 0.70 \times 33.0 \times 1.7496$ = 11.23

6-2. 桁下余裕高の検証

計画洪水位 TP9. 137

計画高水流量 $Q_{100}=34.56\text{m}^3/\text{S}$

非出水期（10月～3月）流量 $Q_3=11.23\text{m}^3/\text{S}$

桁下余裕高 $0.603\text{m}>0.60\text{m}$ （河川管理施設等構造令第76条）
（規則第36条 P355）

6-3. 工事期間中（非出水期）の河積断面の検証

洪水量 $Q_3=11.23\text{m}^3/\text{S}$

平均流速 $V=3.0\text{m}/\text{S}$ （水理計算結果による）

$$\text{必要河積断面 } A = \frac{Q}{V} = 3.75 \text{ m}^2$$

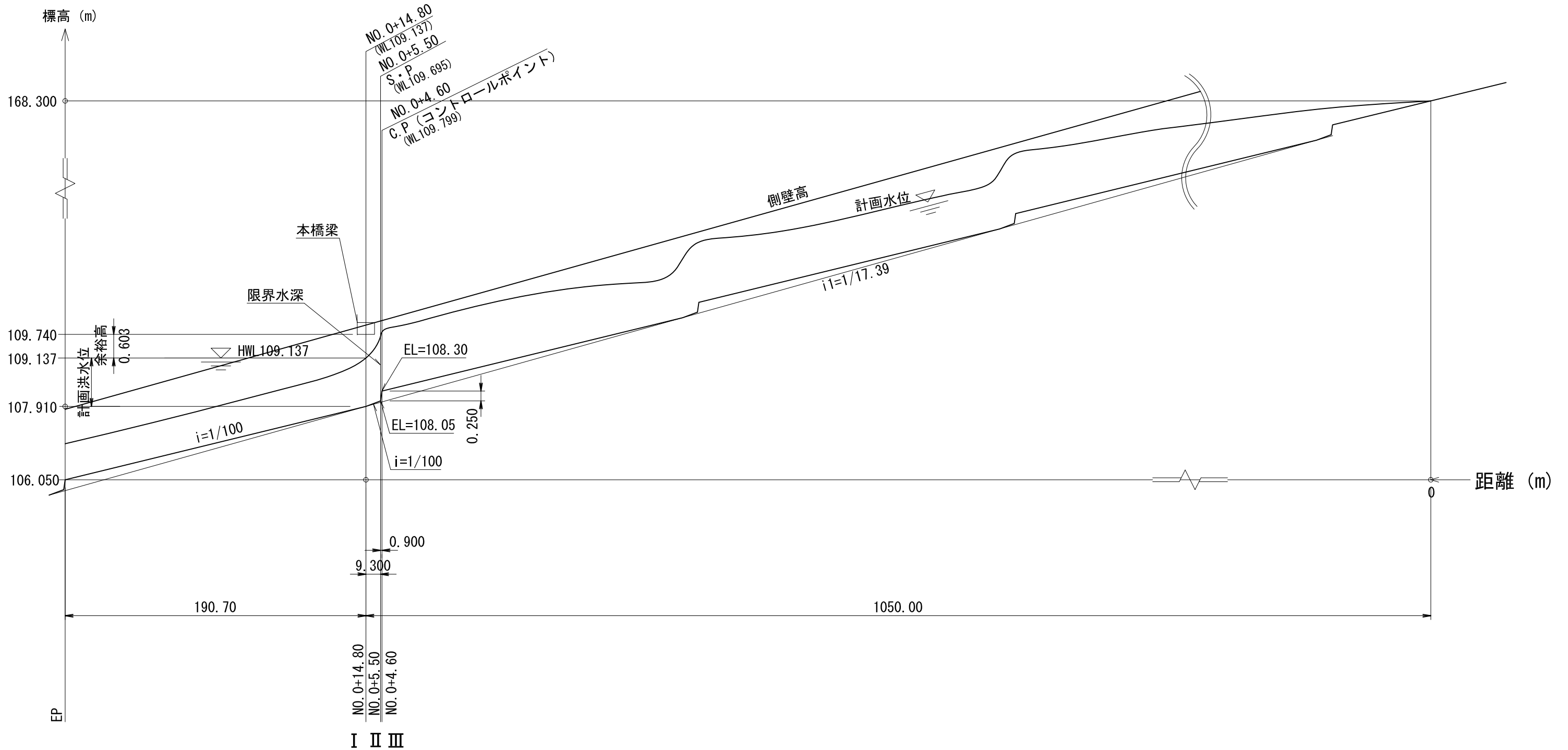
半川締切しても最低片側通水面積を 3.75m^2 は残して大型土のうを設置する。

1級河川 川縦断面図

SH=1:2500
SV=1:100

(不等流計算結果)

Q3' = 11.23m³/s (仮設時)
Q100 = 34.56m³/s (計画洪水量)



5. 工事工程表

自 平成〇〇年 12月 1日
 工期 至 平成〇年 3月 31日

工事種別	月 日												備考				
	平成〇〇年12月				平成〇年1月				平成〇年2月					平成〇年3月			
準備工	■																高圧・低圧・NTT線移設 水道仮廻し及び植栽撤去
仮設坂路工	■設置												■撤去 ■復旧				仮進入用坂路(隣接駐車場)
右岸側締切工	■設置												■撤去				半川締切方式 (非かんがい期Q=11.23m3/S)
右岸側護岸復旧工	■掘削 ■コンクリート工				■埋戻												無騒音工法
左岸側締切工					■設置								■撤去				半川締切方式 (非かんがい期Q=11.23m3/S)
左岸側護岸復旧工					■掘削 ■コンクリート工				■埋戻								無騒音工法
受台設置工					■右岸設置				■左岸設置								
〇〇本体設置工	■				■工場製作(2か月)				■検査 ■搬入 ■設置								6ブロック(1ブロックは10t) 50tラフター使用(左岸)
化粧型枠工 間詰コンクリート工													■				
付帯工(高欄・舗装)													■				
橋梁取合工													■				右岸・左岸(排水路小型擁壁) の復旧
後片付け													■				
備考																	

打 合 せ 記 録 簿

第 1 回								項	1/1
発注者	主 任 監督員	現 場 監督員	管 理 技術者	照 査 技術者	受注者	管 理 技術者	照 査 技術者	主 任 技術者	担 当 者
発注者	●●局				受注者	●●株式会社			
業務名	〇〇改修設計書作成					整理番号			
出席者	発注者	〇県民局 〇〇				日 時	平成〇年〇月〇日		
		〇局 〇長				場 所	〇●局		
	受注者	〇				打合せ 方 法	(会議)・電話		

議事録

別紙打合せ用メモに基づき打合せを行ったので報告する。

1、砂防指定河川である。しかし、当該箇所は砂防指定区域外であるので、1/100年確率降雨で設計すること。但し、土砂混入率は考慮しなくてよい。

2、橋梁と河川護岸は分離して設計すること。

財産分離の原則 → 地震等に対して構造物が壊れた時、管理区分を明確にしておくことによりトラブルを避けることができる。

3、比較表の中で、〇〇工法（橋梁と河川護岸を分離）のような〇〇製品工法であれば

財産分離されているので河川協議上は問題ない。

4、上流にある〇〇暗渠内に一級河川〇川が流れている。

また、下流の〇局の前の床版橋をはじめ多数の床版橋（個人）は護岸の上に直接据付されている。但し、これらは河川協議上は例外である。

今回の橋梁型式は規模や使用頻度（社会的効用）を考慮して財産分離の原則に従うべきで

ある。故に、暗渠の上を橋梁として使用し暗渠内に河川護岸を設置する構造は望ましくない。

5、〇〇川は、河川改修を既に完了している。

但し、現況断面が計画河川断面を確保できているかどうか検証すること。

余裕高は0.6mとする。（河川護岸肩からの橋下までの垂直距離）

打 合 せ 記 録 簿

第 2 回							項	1/1		
発注者	主任 監督員	現 場 監督員	管 理 技術者	照 査 技術者	受注者	管 理 技術者	照 査 技術者	主 任 技術者	担 当 者	
発注者	●●局				受注者	●●株式会社				
業務名	○○改修設計書作成					整理番号				
出席者	発注者	○県民局 ○○				日 時	平成○年○月○日			
		○局 ○長				場 所	○●局			
	受注者	○				打合せ 方 法	(会議)・電話			

議事録

別紙資料に基づき河川事前協議を行ったので報告する。

1、 構造計算及び水理計算書の提示 → 了承

河川流下能力及び橋梁構造図の説明 → 了承

(比較表の中で、○○工法(橋梁と河川護岸を分離)のような2次製品工法であれば

財産分離されているので河川協議上は問題ない。)

2、 河川護床工と河川護岸を兼用にした安定性のあるL型擁壁を(現場打ち)を採用している。

底版は中央部にある浄化水路まで等厚(t=400)とする。この場合、護床工と相当とみられる

で、根入れ1mの規程は適用されない。

3、 護岸工の接水部の法勾配は現況にあわせて摺付のこと。(直壁は好ましくない)

4、 河川協議

24・26条協議資料を提出すること。特に問題は認められないので速やかに書類を提出のこと。

河川法第23・24・26・27条 許可申請チェックシート

	23	24	26	27	
1.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業の計画概要書
2.			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工程表
3.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	位置図
4.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実測平面図
5.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実測縦断面図
6.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実測横断面図
7.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	公図の写し
8.		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		面積計算書及び丈量図
9.				<input type="checkbox"/>	面積計算書及び数量計算書
10.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実施方法を記載した図書（設計書等）
11.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		工作物の設計図
12.	<input type="checkbox"/>				水量の算出根拠（使用数量）
13.			<input type="checkbox"/>		水量の算出根拠（排水量）
14.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		流量計算書
15.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		計画流量及び排水に関する計算書
16.	<input type="checkbox"/>				水収支計算書
17.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	他に及ぼす影響及びその対策を記載した図書
18.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	利害関係者の同意
19.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	他の行政庁の許認可の写し
20.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	前回許認可の写し
21.			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土地の権限を証する書類
22.	<input type="checkbox"/>				用排水路図
23.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	写真